

アフリカのイメージ

I組 シッス、マメ アイサトゥ シカ

「アフリカではインターネットが使えませんか」、「アフリカ人は森に住んでいますね」とアメリカへ行った時、一度聞かれました。そればかりか、ヨーロッパ人の友達にとってもアフリカは貧困に陥っている大陸です。日本人に聞けば動物または自然を思い浮かべると答えます。世界のどこへ行ってもアフリカについてそのように考えてしまう人が多いです。

それはどうしてでしょうか。理由がたくさんあるかもしれませんが、主に情報のせいだと思います。実は、いつもテレビやインターネットなどでニュースを見るとアフリカの良くない箇所しか見せられていません。それでその情報が大陸の全てのイメージだと人々は考えることになります。またガーナのニュースを聞いても外のアフリカの国で同じ出来事が起こっていると考えてしまいます。アフリ

カは一つの国ではなくて55カ国の大陸です。

だからスーダンで戦争が起こっていても大陸全体で戦争が起こっているという意味ではないのです。最近外国人がアフリカへ行きたくない理由の一つはエボラのまんえんです。その病気は大陸の3カ国だけで存在しています。

情報が悪い所に集中していますが、いい箇所もたくさんあります。例えばセネガルという西アフリカにある国には自由の女神像より高い像があります。世界で第二の果物の輸出国は南アフリカです。そして、コンゴで使われているスマホは国内生産です。

つまり、アフリカ大陸はまだ未発達ですが、先進国と同じようにいい点も悪い点もあります。そこで、メディアによくない所だけでなくいい箇所も世界に見せてほしいのです。アフリカの正しいイメージが知られると皆の印象が変わるだろうと思います。